

令和 7 年度 宮古地域振興センター業務方針

令和 7 年 5 月 27 日 作成

I 組織プロフィール

1 組織の目的・役割

「震災の風化を防ぎ 教訓を伝承・発信 国内外に開かれたより良い復興を推進 持続可能な新しい三陸を創造」を実現するため、次のとおり取り組みます。

- 1 「地域振興プラン」（Ⅰ安全、Ⅱ暮らし、Ⅲ産業の3つの振興施策の基本方向と15の重点施策項目）を着実に推進します。
- 2 東日本大震災津波の教訓の伝承・発信と東日本大震災津波や多発した洪水・土砂災害からの復旧・復興に取り組み、被災者一人ひとりに寄り添った支援を継続して実施していきます。
また、令和7年2月に発生した大船渡市の大規模な林野火災からの復旧・復興に取り組みます。
- 3 沿岸圏域の3つの重要課題である「人口の自然減・社会減対策の推進」、「主要産業の振興（海洋環境変化・主要魚種の不漁対策、水産加工業の振興）」、「安全・安心な地域づくり（防災・減災対策、鳥獣被害対策等）」に重点的に対応していきます。
- 4 喫緊かつ最重要課題である人口の自然減・社会減対策については、市町村と連携・協働し、小規模町村には伴走型支援を行うなど、地域の特性を踏まえて対応していきます。
- 5 県の重点事項であるGX・DXの推進も含め、地域の状況・ニーズを十分に踏まえ、市町村、関係団体等と協力・連携し、広域振興事業や地域経営推進費を効果的に活用して、地域の課題解決・地域振興を推進します。
- 6 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の推進により、みちのく潮風トレイルや三陸ジオパーク等の豊富な地域資源と整備された新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かし、地域産業の振興と国内外との交流人口の拡大を推進します。

2 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおける組織の役割

- 地域振興プラン（沿岸広域振興圏）
 - Ⅰ 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域
 - Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域
 - Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域
- 復興推進プラン
 - Ⅰ 安全の確保、Ⅱ 暮らしの再建、Ⅲ なりわいの再生、Ⅳ 未来のための伝承・発信

3 組織や業務を取り巻く環境とその変化

(1) 東日本大震災津波からの復興については、復興道路や災害公営住宅の整備、商業施設や水産加工施設の再開など、計画された事業の多くが完了し、台風災害からの復興についても着実に進展していますが、心のケアやコミュニティ形成・活性化など被災者一人ひとりに寄り添った支援や地域資源を活用した販路多角化などによる産業振興に引き続き取り組んでいく必要があります。

また、令和7年2月に発生した大船渡市の大規模な林野火災について、被災者の暮らしの再建やなりわいの再生をはじめとする復旧・復興に取り組んでいく必要があります。

(2) 急速に進行する人口減少に最優先に取り組むため、第2期政策推進プランに掲げる4つの重点事項である「自然減・社会減対策」、「GXの推進」、「DXの推進」、「安全・安心な地域づくり」について、沿岸圏域の地域特性を踏まえた取組を推進する必要があります。

(3) 主要産業である水産業については、主要魚種の不漁、エネルギー価格・物価高騰、ALPS処理水の海洋放出の影響などにより厳しい状況にあることから、「主要魚種の資源回復」、「増加している資源の有効利用」、「新たな漁業・養殖業の導入」に取り組んでいく必要があります。

また、水産加工業者の経営力強化の推進とその取引先である国内外の事業者との取引の維持・拡大を図る必要があります。

(4) 本県最大クラスの地震・津波浸水想定等を踏まえ、市町村との連携体制の強化などによる防災・減災対策を推進する必要があります。

(5) 急増する鳥獣被害について、市町村や関係機関と連携を強化して対策を講じていく必要があります。

(6) 豊富な地域資源や復興道路、三陸鉄道リアス線、釜石港外貿ダイレクト航路など整備された交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域づくりを推進する必要があります。

(7) 「三陸防災復興プロジェクト2019」、「ラグビーワールドカップ2019TM岩手・釜石開催」、「防災推進国民大会2021」、「第73回全国植樹祭いわて2023」の成果を継承するとともに、みちのく潮風トレイル、三陸ジオパーク、世界遺産登録10周年を迎える橋野鉄鉱山などの地域資源を活用しながら、コロナ禍で減少した交流を着実に回復させ、国内外に開かれた交流拠点として、地域の魅力を発信し、交流人口の拡大につなげていく必要があります。

Ⅱ 本年度の業務運営方針

1 業務における主要課題

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等						
1 地域振興プラン (1) 東日本大震災津波の教訓の 伝承と情報発信	・ SNS を活用した復興の姿の情報発信 回数 (回) (沿岸全体) 累計 <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>-</td><td>489</td><td>180</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	-	489	180	・ フェイスブック「三陸復興」等での情報発信 ・ 復興パネル展の開催	地域振興課 復興推進課
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7							
-	489	180							
(2) 「自助・共助・公助」を組み合 わせた防災・減災対策の推進	・ 地域防災サポーターによる講義等の受 講者数 (人) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>-</td><td>100</td><td>86</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	-	100	86	・ 防災知識の普及啓発を図るため、地域防災サポー ター制度の利用促進を図る。	総務課 (総務 T)
	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7						
	-	100	86						
・ 管内市町村への地域防災サポーター制 度活用に係る周知回数 <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>-</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	-	1	3	・ 地域防災サポーター制度の利用促進を図る広報等 を実施 (6～12 月) 【3 回】		
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7							
-	1	3							
	・ 日本海溝・千島海溝で発生する地震に伴 う津波災害を想定した管内市町村との 連携訓練の実施 (回) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>-</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	-	1	1	・ 県と管内市町村の防災体制の連携・強化を図る一 斉訓練を実施 (8 月～12 月) 【1 回】	総務課 (総務 T)
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7							
-	1	1							

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等						
(3) 三陸地域の産業を担う人材の育成	・若手経営者勉強会・交流会等参加者数 (人) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>74</td><td>108</td><td>150</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	74	108	150	・【地】宮古・下閉伊モノづくりネットワークにおける経営者勉強会の開催 (12月、2月)	地域振興課
	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7						
74	108	150							
	・ものづくり人材育成講座等修了者数 (人) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R7</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>22</td><td>集計中</td><td>220</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R7	目標値 R7	22	集計中	220	・【地】宮古下閉伊モノづくりネットワークにおけるものづくりの出来る人づくり寺子屋の開催 (6～7月)	同上
現状値 R3	実績値 R7	目標値 R7							
22	集計中	220							
(4) 東日本大震災津波発災後の企業間のつながりや新たな交通ネットワークを生かした販路拡大と事業展開の促進	・商談会有望取引件数 (件) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R7</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>19</td><td>集計中</td><td>150</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R7	目標値 R7	19	集計中	150	・【地】産業創造 AD と商品高付加価値化に向けた伴走支援 (随時)、販路拡大支援 (6月 ITAMI 空の市) を行う。	同上
	現状値 R3	実績値 R7	目標値 R7						
19	集計中	150							
・商談会新規出店者数 (者) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>8</td><td>30</td><td>30</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	8	30	30			
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7							
8	30	30							
(5) 学生へのキャリア教育による若者の定着	・小中高生等キャリア教育支援者数 (企業見学会・出前授業・職場体験参加者数) (人) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>1,134</td><td>2,838</td><td>3,750-</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	1,134	2,838	3,750-	・【地】企業ガイドブックによる管内企業の情報発信 ・【地】高校生、高校教員及び一般求職者を対象とした企業見学会等の開催	同上
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7							
1,134	2,838	3,750-							

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等												
(6) 地域資源と新たな交通ネットワークを生かした観光地域づくりの推進	・三陸地域の観光消費額 (億円) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R2</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>275.6</td><td>集計中</td><td>396.6</td></tr></table>	現状値 R2	実績値 R6	目標値 R7	275.6	集計中	396.6	・【地】クルーズ船乗客の広域周遊を促進するため、 船社に対しオプションルツアーコースの提案を行 う。 ・【地】みちのく潮風トレイルのトレイルプランニ ングマップを作成し、誘客を促進する。	地域振興課						
現状値 R2	実績値 R6	目標値 R7													
275.6	集計中	396.6													
(7) 内陸地域や東北・北海道と連携した観光プロモーションの展開	・県・三陸 DMO センターが提案した旅行 商品の催行数 (件) (沿岸全体) (累計) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>37</td><td>46</td><td>49</td></tr></table> ・教育旅行受入校数 (校) (沿岸全体) <table><tr><td>現状値 R3</td><td>実績値 R6</td><td>目標値 R7</td></tr><tr><td>588</td><td>集計中</td><td>648</td></tr></table>	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	37	46	49	現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7	588	集計中	648	・三陸 DMO センターと連携した観光地域づくりの 推進 ・インフラツーリズムに係る情報発信	同上
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7													
37	46	49													
現状値 R3	実績値 R6	目標値 R7													
588	集計中	648													

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等
2 地域振興プラン以外 (1) 円滑かつ適正な業務推進の実現	・ 事務事業の適正かつ効率的な遂行に向けた所属間の施策の総合調整及び情報共有等の徹底	・ 沿岸広域振興局宮古地区センター会議の実施【月例・随時】	総務課（総務 T）
	・ 公舎の入退去、県災害対策本部宮古支部の人員体制などの円滑な移行	・ 宮古地区センター総務担当者会議の実施【3月】	総務課（総務 T）
	・ 適正な会計事務の実施	・ 合議文書の適正な審査、事務指導の実施及び相談や照会に対する適切な対応 ・ 会計残額一覧表や支出予算経理簿の提供 ・ 歳計外現金の適正管理	総務課（経理 T）
	・ 会計事務処理能力の向上	・ 不適切な会計事務の事例を踏まえた職員研修の実施	総務課（経理 T）
	・ 適正な財産事務の実施	・ 適正な財産の使用許可、貸付許可の実施 ・ 財産関係事故発生時の適切な対応の実施	総務課（総務 T）
(2) コンプライアンスの確立と推進	・ コンプライアンスに係る職員の意識啓発と取組の定着化	・ コンプライアンス確立の日の実施【毎月】	宮古地域振興センター
	・ 交通三悪の発生防止	・ 交通安全研修の実施【6、12月】	総務課（総務 T）
	・ ハラスメントの発生防止	・ ハラスメントの防止等に係る研修の実施【8月】	総務課（総務 T）
(3) 事務処理のリスクマネジメントの構築	・ 事務処理の適正性の確保に向けた内部統制の実効性ある取組の推進	・ 会計自己点検の実施【9、3月】 ・ 財産事務自己点検の実施【9、3月】 ・ 宮古センター内での任意点検項目の情報共有【第1四半期】	総務課（経理 T） 総務課（総務 T） 総務課

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等
(4) 災害対応・危機管理業務等の 円滑な実施	・災害対応・危機管理業務の研修会、訓練 の実施による職員の対応能力の向上	・災害警戒当番業務研修会【4月】 ・緊急初動動員研修会【6月】 ・支部リエゾン研修会【6月】 ・非常連絡訓練の実施【4、9月】	総務課（総務 T）
	・地震・火災に伴う避難訓練の実施による 安全確保の実現	・地震・火災に伴う避難訓練の実施【6、10月】	総務課（総務 T）
	・鳥インフルエンザ等研修会、訓練の実施による 職員の対応能力の向上	・机上訓練（8～10月）【1回】 ・実働訓練の実施（9～11月）【1回】	総務課（総務 T）
(5) 職員研修への受講促進	・職員の能力開発による課題への対応力 の向上	・職員が望むキャリア形成のため、人事課等が主催 する研修受講を促進	総務課（総務 T）
(6) 働きやすい職場環境の整備 促進	・職員間の業務の繁閑を踏まえた休暇の 計画的な取得の促進	・休暇取得予定表・実施一覧表を活用し、職員間の 休暇取得の見える化の実施	総務課（総務 T）
	・職員の心身の健康づくりのために必要 な知識を共有するとともに、健康障害の 防止	・職員健康増進セミナーの開催【2回】 ・「か・えるの日」の実施（毎週水曜日） ・長時間労働者を確実に保健指導につなぐ	総務課（総務 T）
	・庁舎や公舎の老朽化に対応した取組の 実施	・老朽化を踏まえた維持修繕等の実施 ・破損などの緊急事案に係る迅速な対応の実施	総務課（総務 T）
(7) 行政情報の適正な管理	・情報公開制度への適切な対応	・情報公開制度の運用や解釈に係る的確な助言	総務課（総務 T）
	・公文書の適正な管理の推進	・保管文書の適切な整理の推進 ・電子決裁・文書管理システムの効果的な利用方法 を促進	総務課（総務 T）
	・情報セキュリティポリシーの遵守	・情報セキュリティ対策自己点検の実施【9、3月】	総務課（総務 T）

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当等
3 重点テーマ (1) 人口減少 (指標なし)	人口減少対策(移住定住等)を関係団体と協議し、R6 事業に反映	・管内市町村関係課やふるさといわて定住財団等と 情報共有・意見交換の場を設け事業を具体化	地域振興課
(2) DX 推進 (指標なし)	生産、物流、消費においてデジタル化を進め、生産性や利便性を向上	デジタルトランスフォーメーション理解増進に向けた普及啓発活動の展開(本庁事業等)	同上
(3) グリーン社会の実現 (指標なし)	地域の企業における再生可能エネルギー由来の電力の利活用によるカーボンニュートラルへの貢献	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入拡大に向けた普及啓もう活動の展開(本庁事業等)	同上

2 組織運営課題

(1) 職員憲章の実現

職員憲章	取組内容・ねらい
県民本位	振興局及び各所属の業務方針を県民本位を旨として定めて職員間で共有し、その実現に取り組みます。 また、「現場主義」で地域の現状やニーズを把握し、地域課題の解決に取り組みます。
能力向上	地域のキーパーソンの招請など職員研修を充実させ、職員の能力向上を図るとともに、「いいね！アワード」などへの積極的な参加に組織的に取り組み、日々の業務の改善や政策形成能力の向上に取り組みます。
明朗快活	来庁者や職員への「あいさつ」の励行によるコミュニケーションの活性化などにより、明るくいきいきとした職場作りに取り組みます。
法令順守	「コンプライアンス確立の日」の取組を確実に実施し、職員の法令の遵守に努めます。
地域意識	地域で開催されるお祭りやイベントへの参加、地域プロスポーツ等の応援などに積極的に参加します。

(2) 働き方改革の実現

項目	実施内容等	業務見直し、業務効率化に係る指標及び目標値		
業務効率化	○ カイゼンによる業務の効率化と生産性の向上、業務の見える化と計画的な業務管理 ・ 統一的な様式による定期的な達成状況の把握と成果の確認	・ 事業の進め方に関する視点		
		指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値
		複写用紙の購入枚数（基準年度：R 2） ※必須	590,000 枚 (R 2)	354,000 枚 (R2 から 40%減)
ワーク・ライフ・バランス	○ 休暇が取得しやすい環境の整備 ・ 「金曜の午後は早めにカエルの日」の設定 ・ 休暇の計画的な取得の促進 ・ 知事、局長イクボス宣言の徹底	・ 県民サービス向上に関する視点		
		指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値
		「いいね！アワード」応募件数	1 件 (R 6)	1 件 (R6 と同数)
		・ 働き方改革の推進に関する視点		
		指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値
		1 人当たり超過勤務時間数（時間/月） ※必須	11.3 時間 (R 6)	10.7 時間 (R 6 から 5 %減)

(3) 内部統制

内部統制の目的を達成するための年間取組目標	
年間取組目標	目標を達成するための具体的方策
会計事務のリスク対策を事前に検討すること及び会計事務監査による指摘事項を繰り返さない。	各所属において、不適当な事務処理の発生リスクがある会計事務について、事前にリスク対応策を検討し、部内会議等で共有します。 また、これまでの監査で指摘を受けた事項については、所属長のリーダーシップのもと、組織全体で再発防止に努め、指摘事務のリスク対応策を実施するとともに、半年ごとの会計事務自己点検において改善状況を確認します。

(4) その他業務推進に当たっての組織運営上の基本姿勢・行動指針等

項目	課題	課題解決に向けた取組の方向	達成手段・方法
I 組織運営			
1 局内の連携強化	○本局と地域センターのより一体的な組織運営	○定期的な運営会議等の開催による情報共有や施策調整 ○業務方針に基づいたより一体的な局の運営	○年間計画に基づく運営会議の開催 ○局長の行政センター訪問（センター所長会議への出席等） ○より一体的な局運営をめざした業務方針の作成
2 広域的な施策の推進	○沿岸市町村協働での課題解決への取組支援 ○三陸全体の広域的な施策の推進	○広域的な情報の収集と共有 ○岩手三陸連携会議の取組支援 ○県北局との連携を強化	○定期的な局長の市町村長訪問 ○岩手三陸連携会議及びワーキングへの対応（随時） ○事業連携の促進（人口減少対策に重点的に取り組むための連携強化等）
II 協働の促進			
1 市町村との協働	○市町村との連携を強化 ○市町村ニーズの的確な把握と状況変化の理解	○会議等を通じた情報の提供と共有 ○訪問、ヒアリング等による情報収集	○市町村からの要望への対応 ○市町村担当課長会議等の開催 ○市町村への訪問（随時）
2 地域で活動する団体、企業等との協働	○地域で活動する団体、企業など、多様な主体の状況把握と課題の共有	○取組、課題、行政へのニーズ等の聞き取りを踏まえた連携と施策の検討、実施	○訪問、聞き取り、対話（随時） ○連携した施策、支援策の検討、実施 ○地域行事・イベントへの積極的な参加